

平成 27 年度教員評価結果について（報告）

I. 本学における教員評価（骨子）

1. 目的（教員評価規程第 1 条）

①大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部（以下「本学」という。）は、その理念及び目的に基づいて、教員の毎年度の諸活動について自己点検・評価（以下「教員評価」という。）を実施する。この教員評価は、教員の諸活動への支援・啓発、本学の教育、研究及び社会貢献等の改善・向上に資するとともに、適切な情報公開により社会への説明責任を果たすことを目的とする。

2. 評価対象教員（教員評価規程第 2 条）

①教員評価の対象教員は、当該年度の前年度 1 年間、本学の専任の教授、准教授、専任講師又は助教として勤務し、当該年度 4 月 1 日において引き続き専任教員である者とする。ただし、当該年度の前年度内又は当該年度 4 月 1 日時点で、国内・国外研修、サバティカル取得、休職の期間を含む者を除く。

3. 評価領域（教員評価規程第 5 条）

①教員評価の領域は、教育活動領域、研究活動領域、社会貢献活動領域、管理運営活動領域とする。
②教員評価は、教育活動領域に重点をおいて行う。

4. 評価対象期間（教員評価規程第 6 条）

①教員評価の対象期間は、当該年度の前年度 1 年間とする。ただし、研究活動領域及び社会貢献活動領域については、前年度までの過去 3 年間とする。

5. 評価方法：教育活動領域（教員評価要領から）

①教育活動領域における評価は、量的評価、質的（定性的）評価及び授業評価とする。
②量的な点検評価：別途定める点検基準により点検評価点を算出する。
③質的評価及び授業評価については、組織目標を起点とする目標管理型の PDCA サイクルとして行う。
・質的な点検評価：年度教育目標に対する達成度などを中心として、ABC により自己点検評価する。（「活動報告書」を用いる）
・授業評価に基づく点検評価：学生による授業評価結果に基づいて、授業の質、授業のスキル、授業に対する態度・姿勢などについて、ABC により自己点検評価する。（「授業に関するアンケート」の結果を用いる）

6. 評価方法：研究活動・社会貢献活動・管理運営活動領域（教員評価要領から）

①この 3 領域については、当面量的評価で実施し、PDCA サイクルへの組み込みは行わない。

7. 評価結果の公表（教員評価規程第 10 条）

①②略

③社会への説明責任を果たすため、各実施部署の評価結果を全学で取りまとめ、統計的に集計したものを、学内外に公表する。

8. 自己点検評価

①量的評価

・ 5 段階：30 点（上限）、29～25 点、24～20 点、19～15 点、14 点以下

②質的評価

・教育目標 1（教育改善に関する目標）：3 段階（A、B、C）
・教育目標 2（学生指導・支援に関する目標）：3 段階（A、B、C）
・授業評価（授業に関するアンケート）：3 段階（A、B、C）

II. 平成 27 年度教員評価結果（概要）

本学教員評価規程第 10 条に基づき、平成 27 年度教員評価結果を以下に公表する。

1. 評価対象者数・教員評価資料提出者数・提出率

①学部・短期大学部

・全学	: 190名	・190名	・100%
・家政学部	: 42名	・42名	・100%
・文学部	: 35名	・35名	・100%
・社会情報学部	: 37名	・37名	・100%
・人間関係学部	: 23名	・23名	・100%
・比較文化学部	: 19名	・19名	・100%
・短期大学部	: 27名	・27名	・100%

②附属施設

・附属施設全体	: 5名	・5名	・100%
---------	------	-----	-------

2. 掲載した評価結果のグラフ一覧

①評価実施者数（学部別・附属施設全体）

<学部・短期大学部所属教員用>

②量的評価・非職位別

・A-1（全学と学部別）

③量的評価・職位別

・B-1（全学の職位別）

④質的評価・非職位別

・C-1（全学と学部別）

⑤質的評価・職位別

・D-1（全学の職位別）

<附属施設教員用>

⑥量的評価・非職位別

・E-1（附属施設全体）

⑦質的評価・非職位別

・E-3（附属施設全体）

3. 評価結果に関するコメント

以下は、評価結果に関する全学と附属施設全体についてのコメントである。

① A-1（量的評価・非職位別、全学と学部別）

- ・全学共通して、評価の上限の30点に達している比率が最も高いのが「教育活動領域」であり、次いで「研究活動領域」となっている。
- ・「社会貢献活動領域」は全体的に評価が低く、各学部とも評価にばらつきがあるのが特徴であるが、相対的に実学的な学問領域である分野を専門とする家政学部、人間関係学部及び短期大学部において、評価がやや高い。
- ・「管理運営活動領域」は文学部及び人間関係学部において90%を超える教員が、短期大学部では80%を超える教員が、評価の上限である30点に達している。

② B-1（量的評価・職位別、全学）

- ・「研究活動領域」においては、「専任講師・助教」、「准教授」、「教授」の順に高得点の傾向であり、特に「専任講師・助教」が研究活動を活発に行っていることを示している。これと同様に、「教育活動領域」でも高い評価であることから、教育と研究の両立が図られていることが伺える。
- ・しかし、逆に「社会貢献活動領域」においては、「教授」、「准教授」、「専任講師・助教」の順に得点が低下しており、研究歴の長い教授は研究活動が相対的に低くても社会貢献活動は活発であると言える。
- ・「管理運営活動領域」においては、教授に比べて役職等による高得点がつきにくいと思われる准教授が、ほぼ教授と同じ結果であることから、准教授の負荷が大きい可能性がある。

③ C-1（質的評価・非職位別、全学と学部別）

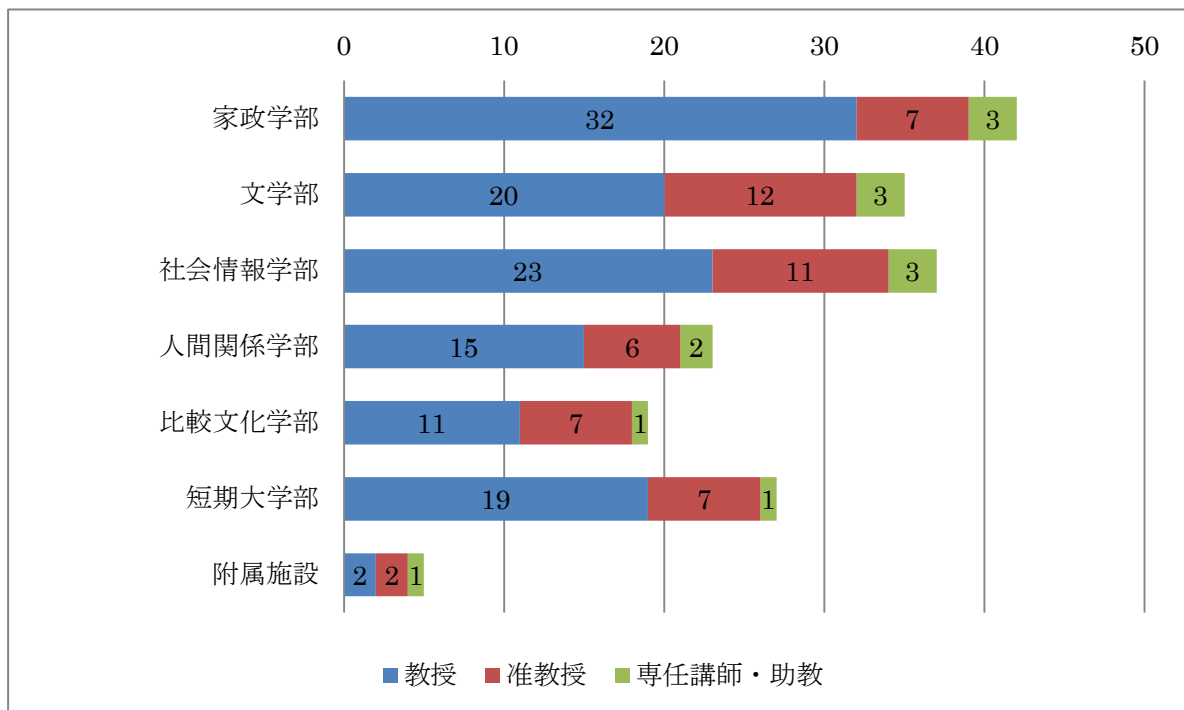
- ・全体的に「教育目標1」（教育改善に関する目標）、「教育目標2」（学生指導・支援に関する目標）ともにA評価（目標に対して十分に達成できた）とB評価（ある程度達成できた）の比率が高く、対するC評価（達成できなかった）はかなり低くなっており、全体的に年度当初に立てた目標をほぼ達成できたと評価している。

- ・「教育目標 1」、「教育目標 2」とともに短期大学部では 85%を超える教員が A 評価である。このことは短期大学部の定員削減が学生に対する丁寧な教育を促進していると推察される。
 - ・「学生による授業評価」は、全学的に類似した数値となっており、「教育目標 1」「教育目標 2」より低い数値となっている。これは一概に比較できないものの、教員の自己評価より学生の方が厳しく見ているようである。
 - ・「教育目標 1」、「教育目標 2」の達成度に関する評価はあくまで教員の自己評価であるため、その基準は個々の教員によってバラツキがあることを考慮しなければならない。
- ④ D-1（質的評価・職位別、全学）
- ・「学生による授業評価」は教授が最も低く、C 評価もみられることが気になる点である。対して、准教授、専任講師・助教は学生による評価はやや高く、C 評価はない。
 - ・「教育目標 2」（学生指導・支援に関する目標）においては、准教授の評価が高く、これが学生から評価されている要因かもしれない。
- ⑤ E-1（量的評価・非職位別、附属施設全体）
- ・「教育活動領域」では 100%の教員の評価が上限の 30 点に達しており、また「社会貢献活動領域」も高い評価となっている。
 - ・「研究活動領域」では、30 点以上の層と 14 点以下の層に二極化しており、中間の評価が欠けている点特徴的である。
- ⑥ E-3（質的評価・非職位別、附属施設全体）
- ・「教育目標 1」（教育改善に関する目標）、「教育目標 2」（学生指導・支援に関する目標）ともに 100%の教員が A（目標に対して十分に達成できた）と評価しており、「学生による授業評価」も高い評価となっている。

評価結果のグラフは次ページ以降です

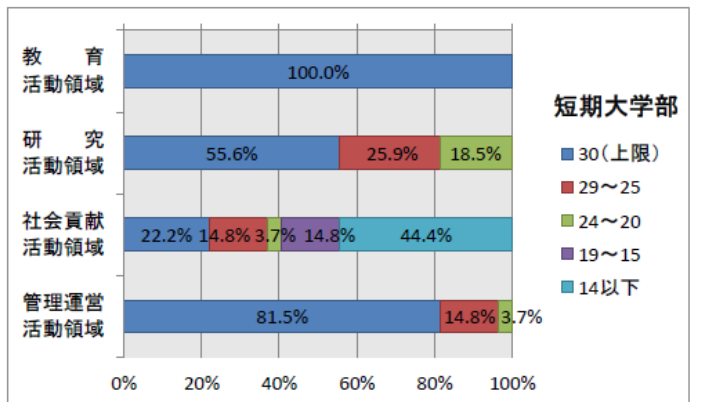
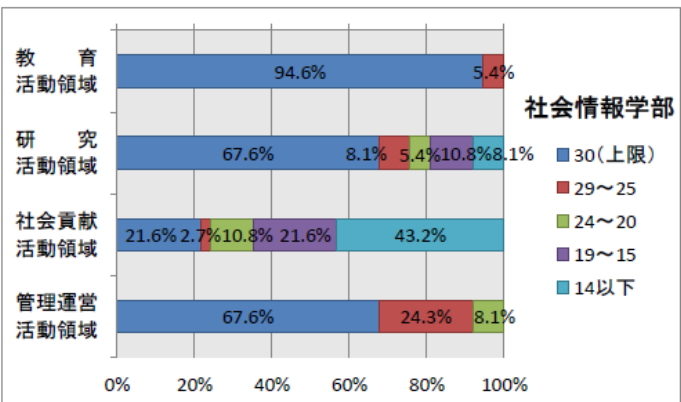
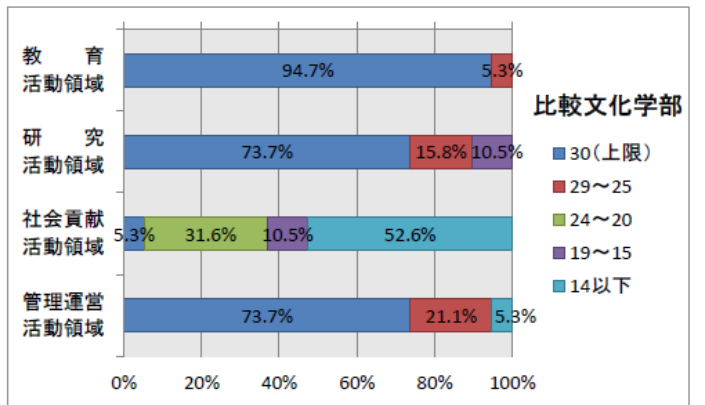
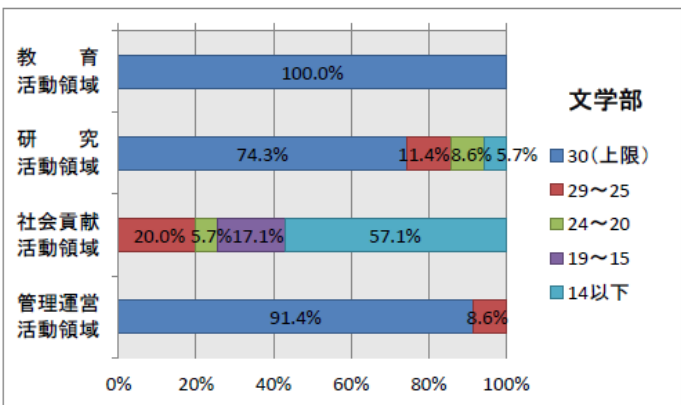
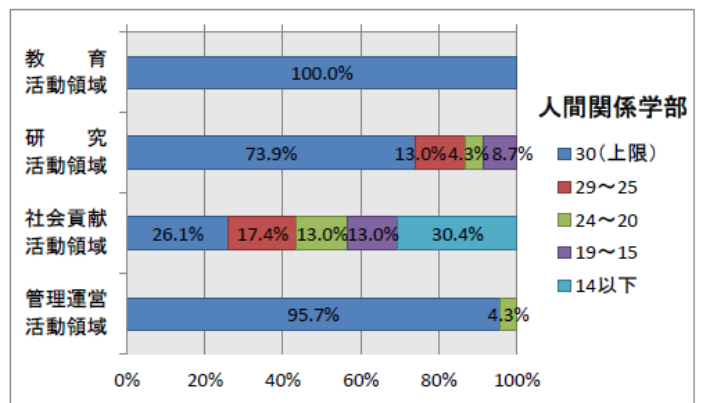
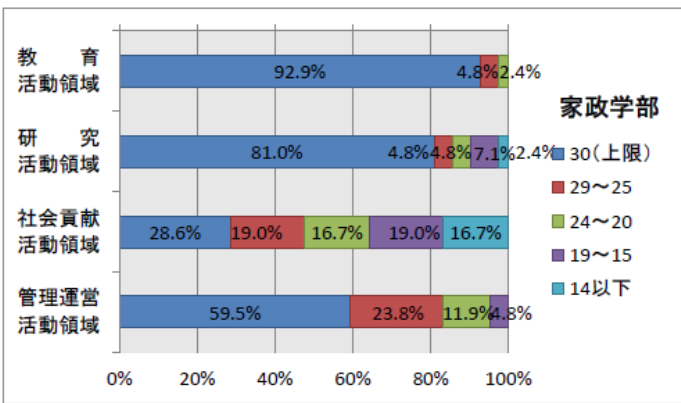
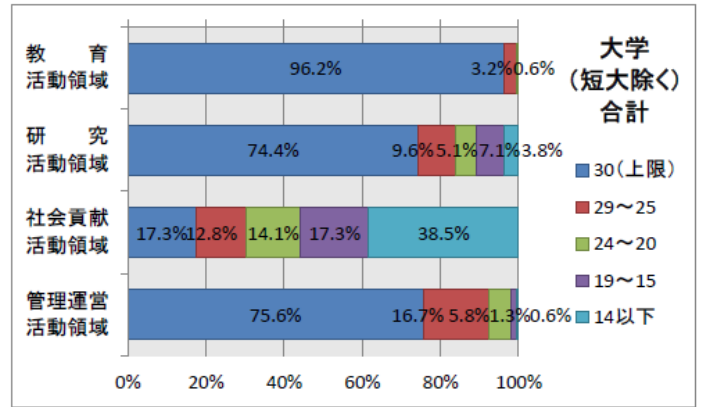
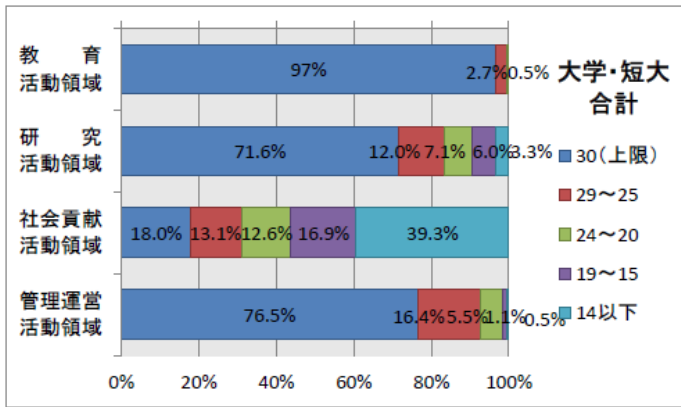
Ⅲ. 平成 27 年度教員評価結果（グラフ）

評価実施者数

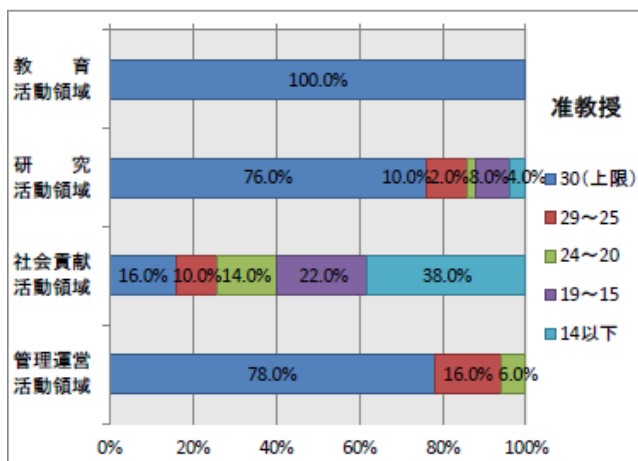
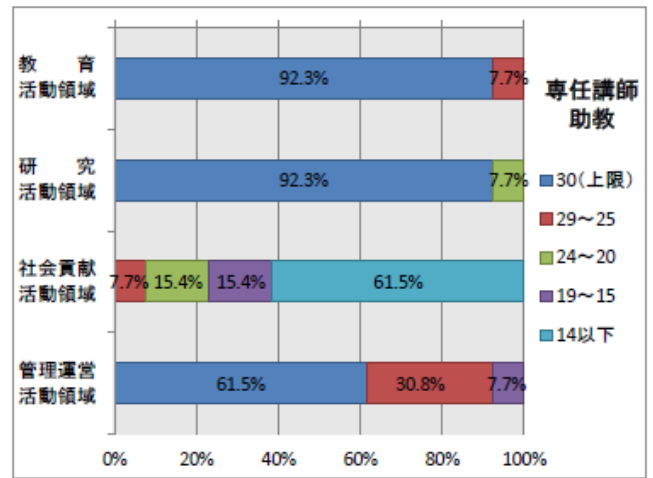
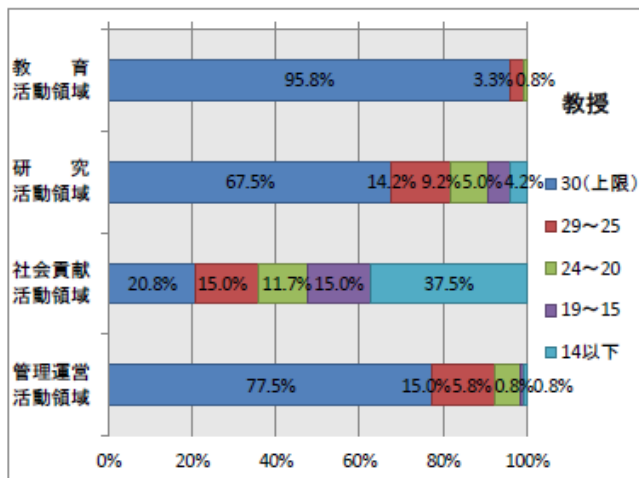
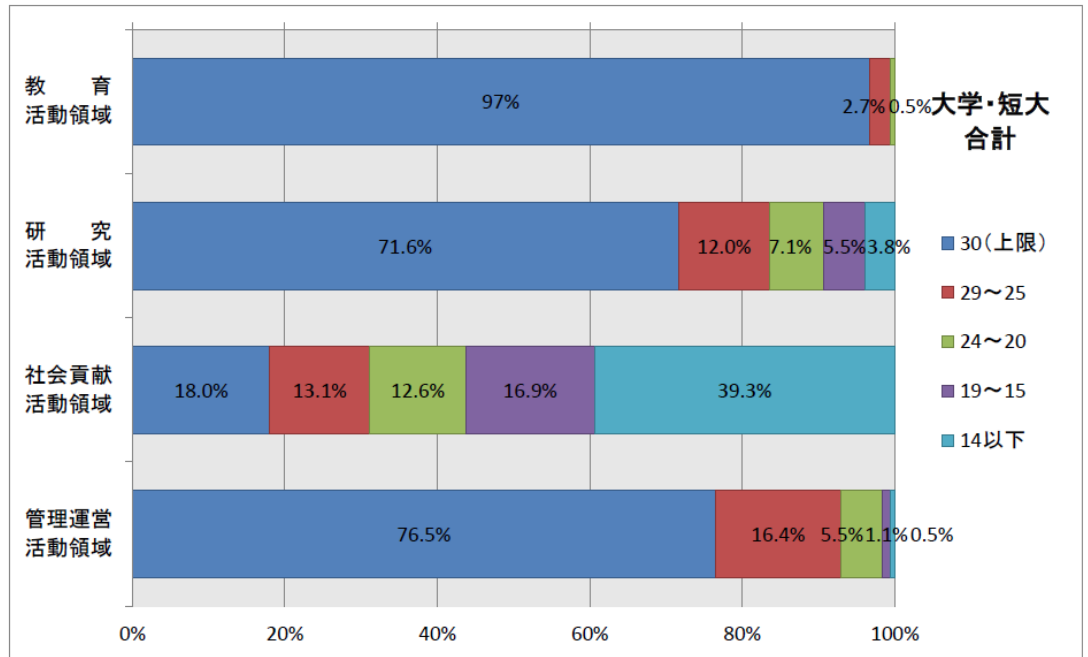


※なお、表中におけるグラフの構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない場合がある。

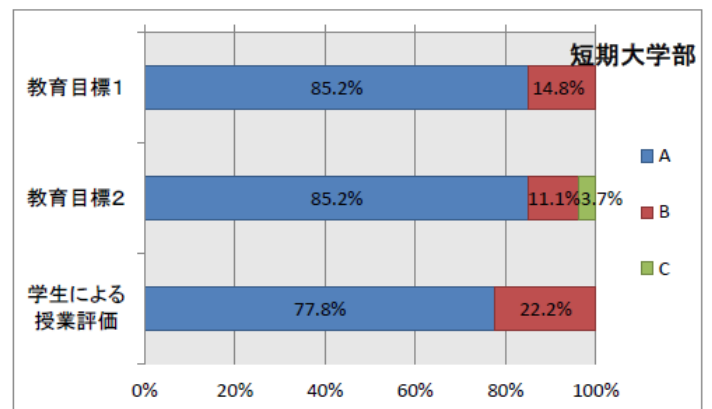
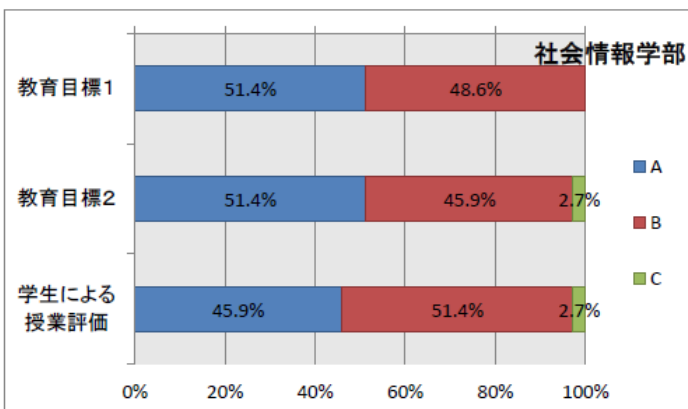
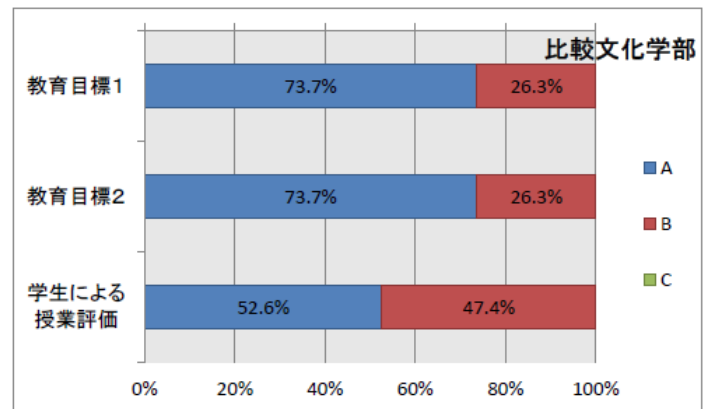
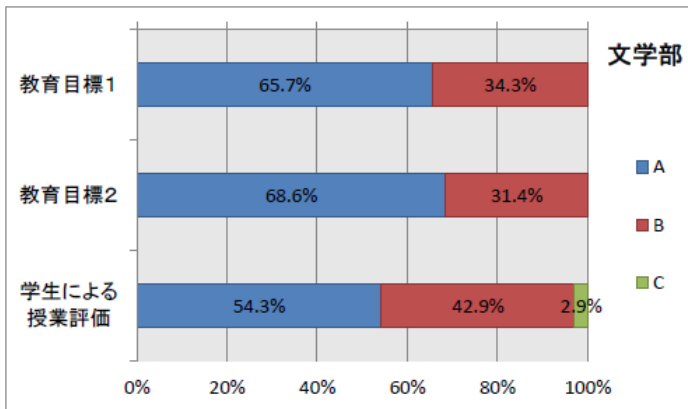
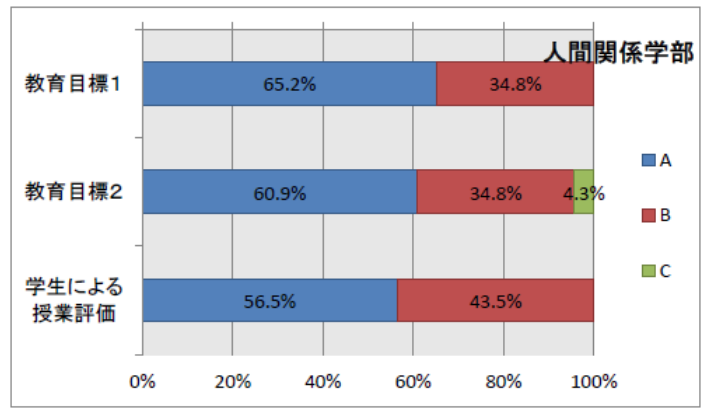
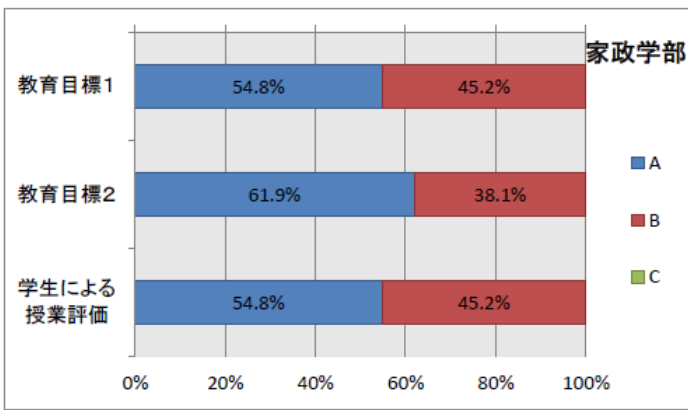
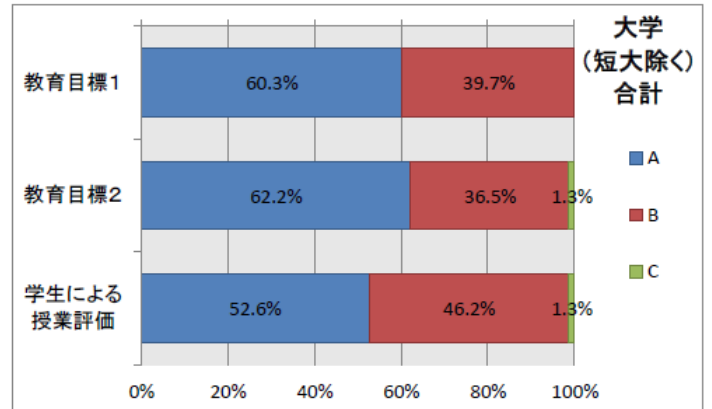
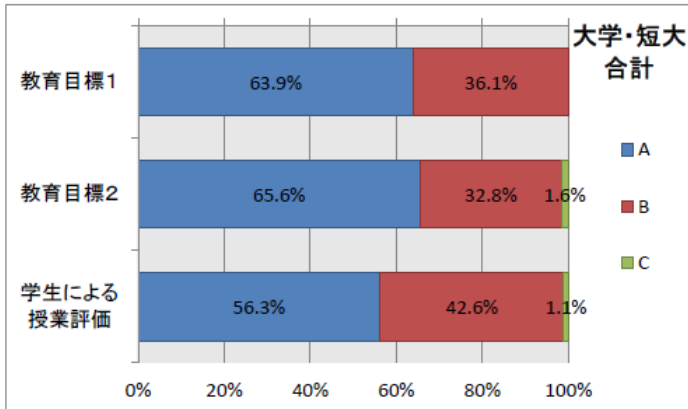
A-1: 量の評価・非職位別（全学と学部別）



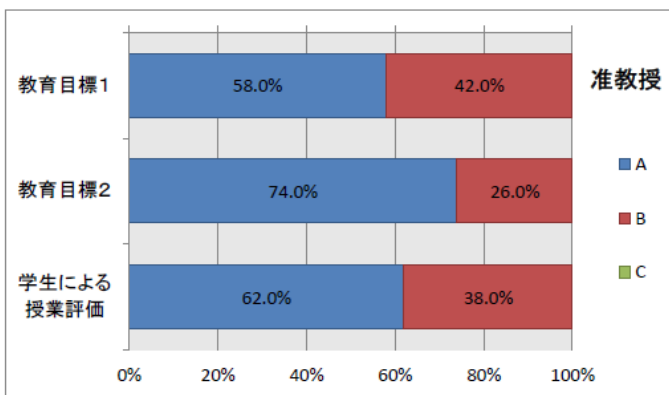
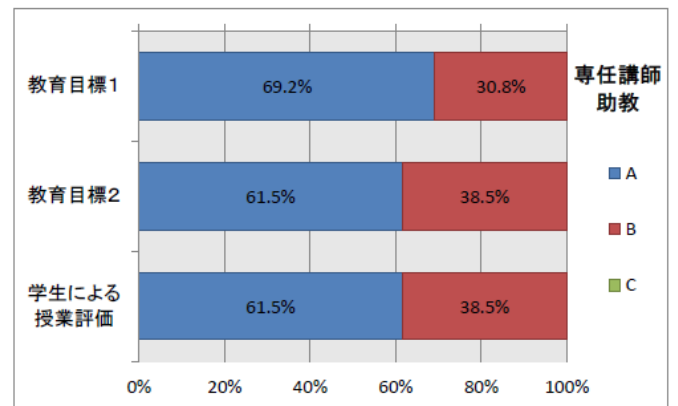
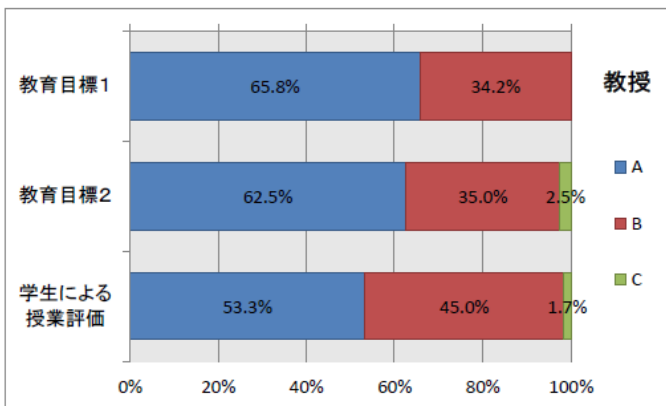
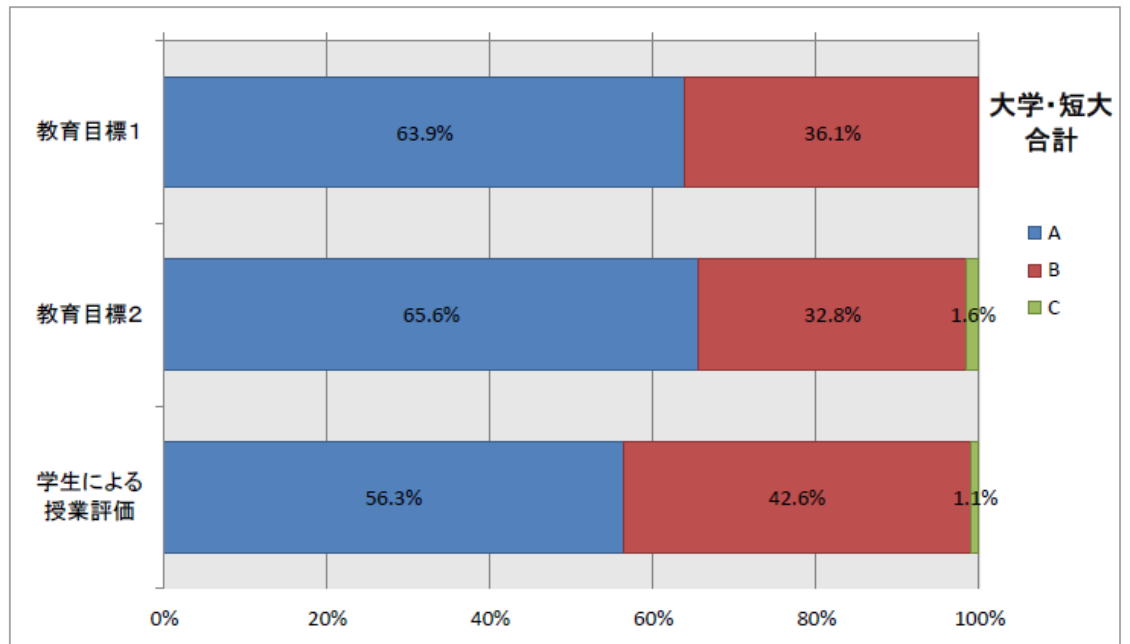
B-1 : 量的評価・職位別 (全学)



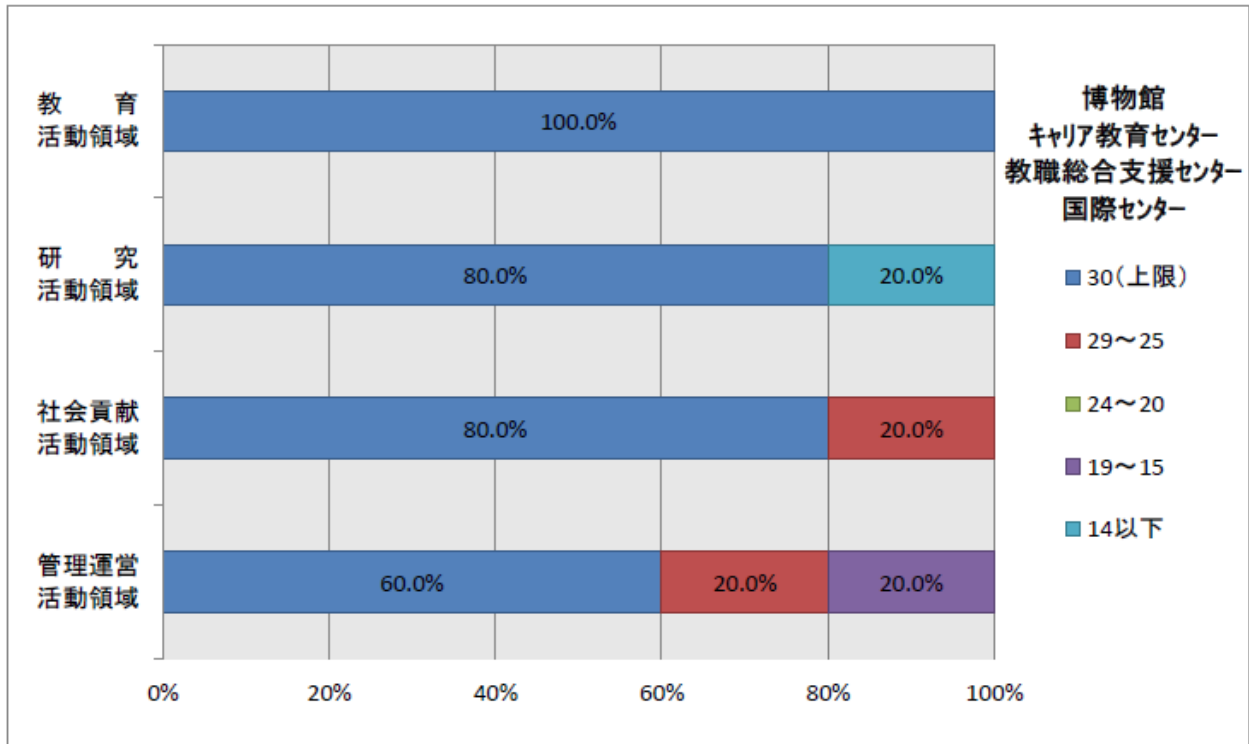
C-1 : 質的評価・非職位別（全学と学部別）



D-1 : 質の評価・職位別 (全学)



E-1 : 量的評価・非職位別（附属施設全体）



E-3 : 質的評価・非職位別（附属施設全体）

